

# 6

## クイズの答え



# クイズの答え 人口・自然編



**A 1 ② 912万6千人**

2015年10月1日現在の神奈川の人口は912万6214人です。1945年と比べ、人口は約5倍に増加しています。(3ページ参照)

**A 2 ③ 3位**

神奈川の人口密度は3777.7人/km<sup>2</sup>で、全国第3位です。  
これは、全国平均(340.8人/km<sup>2</sup>)の約11倍となっています(3ページ参照)

**A 3 ② 0.20%**

2016年の神奈川の人口増減率は0.20%で全国第6位です。  
前年と比べ、人口が増加した県は神奈川を含め7県で、40県で減少しています。(3ページ参照)

**A 4 ② 5.37**

2015年の神奈川の人口1000人当たりの婚姻率は5.37で全国第6位です。なお、神奈川の離婚率は1.81で全国第12位となっています。(5ページ参照)

**A 5 ③ 38位**

2015年の神奈川の合計特殊出生率は、1.39で全国第38位です。全国では1.45で、最も高いのは沖縄の1.96、最も低いのは東京の1.24です。(5ページ参照)

**A 6 ① 1位**

2015年10月1日現在、神奈川県民のうち、県外への通勤・通学者数は、113万1482人で全国第1位です。そのうちの106万8505人が東京へ通勤・通学しています。(7ページ参照)

**A 7 ③ 19万1741人**

2016年末の神奈川の在留外国人数は19万1741人です。選択肢①16万2142人は2012年、②の17万1258人は2014年の神奈川の在留外国人数です。2012年7月の制度改正以降、神奈川の在留外国人数は増加傾向にあります。(7ページ参照)

**A 8 ② 215万8千人**

2015年10月1日現在、老年人口(65歳以上人口)は215万8157人です。選択肢①114万1千人は神奈川の年少人口(0~14歳人口)、③の574万4千人は神奈川の生産年齢人口(15~64歳人口)です。(9ページ参照)

**A 9 ① 8位**

2015年10月1日現在の神奈川の単独世帯割合は35.50%で全国第8位です。核家族世帯と合わせると、一般世帯の93.89%を占めています。(11ページ参照)

**A 10 ② 22.8%**

2015年の神奈川の自然公園面積割合は22.8%で、全国第11位です。自然公園面積とは、自然風景地の保護とともに自然とのふれあいを図ることを目的として指定される地域の合計です。(13ページ参照)

**A 11 ① 17位**

2015年の神奈川の年間降水量は1836mmで、全国第17位です。年間降水日数は119日で、全国第24位、年間雪日数は8日で全国第40位です。(13ページ参照)

# クイズの答え 産業・労働編



## A 1 ② 30兆円

2014年度の神奈川の県内総生産（名目）は30兆3220億円で、全国第4位です。

1位は東京で94.9兆円、2位は大阪で37.9兆円、3位は愛知で36.0兆円です。（17ページ参照）

## A 2 ③ フィンランド

2014年度の神奈川の県内総生産は、フィリピンやフィンランドの国内総生産に匹敵し、ニュージーランドを大きく上回ります。

なお、スウェーデンの国内総生産は、神奈川の県内総生産の2倍以上となっています。（16ページ参照）

## A 3 ① キャベツ

2015年の神奈川の品目別農業産出額の第1位はキャベツで83億円です。2位はだいこんで66億円、3位は豚で52億円となっています。（21ページ参照）

## A 4 ① 第2位

2014年の神奈川の工業製造品出荷額等は17.7兆円で、愛知に次ぎ全国第2位です。3位は大阪で、この上位3県で全国の約4分の1を占めています。（23ページ参照）

## A 5 ③ 電気機械器具

2014年の神奈川の卸売業の業種別年間商品販売額は、医薬品・化粧品等（1兆3630億円）、電気機械器具（1兆2825億円）、食料・飲料（1兆844億円）の順となっています。

なお、②の自動車は5759億円となっています。（24ページ参照）

## A 6 ② 4709億円

2014年の神奈川のコンビニエンスストアの年間商品販売額は4709億円で、全国第2位です。

1位は東京で8951億円、3位は愛知で3990億円です。（27ページ参照）

## A 7 ① 6万人

2014年の神奈川の学術・開発研究機関（民営）の従業者数は6万925人で全国第1位です。神奈川だけで全国の2割以上を占めています。

また、2014年の神奈川の学術・開発研究機関数（民営）は446事業所で、全国第2位です。（31ページ参照）

## A 8 ② 72.22%

2015年の神奈川の男性の労働力率は72.22%で、全国第5位です。また、神奈川の女性の労働力率は49.42%で、全国第31位です。（33ページ参照）

## A 9 ② 29万円

2016年の神奈川のきまって支給する給与の女性1人当たり月平均は29万1700円で、全国第2位です。また、神奈川のきまって支給する給与の男性1人当たり月平均は40万3700円で、同じく全国第2位です。（35ページ参照）



# クイズの答え 県民生活編



## A 1 ③ 100分台

2016年の神奈川の平均通勤・通学時間（行動者平均、10歳以上）は101分で、全国第1位です。平均で100分を超えるのは神奈川のみとなっており、男性の平均は107分、女性の平均は91分です。（39ページ参照）

## A 2 ① 1位

2016年の神奈川の女性の育児時間（総平均時間、15歳以上）は35分で、全国第1位です。男女総計では第2位（20分）、男性では第10位（6分）となっています。（39ページ参照）

## A 3 ① 72.4%

2016年の過去1年間にスポーツをした人の人口に対する割合（行動者率）は、神奈川は72.4%で全国第3位です。種類別では神奈川はサッカー、器具を使ったトレーニングが全国第1位となっています。（41ページ参照）

## A 4 ② 子供を対象とした活動

2016年の過去1年間に神奈川県民が行ったボランティア活動を種類別で見ると、最も大きな割合となっているのは子供会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝いなどを含む「子供を対象とした活動」で9.8%です。（41ページ参照）

## A 5 ① 1900万人

2016年の1年間に神奈川の宿泊施設に宿泊した人の延べ人数は1874万6090人で、全国第7位です。神奈川は、観光目的客よりビジネス目的客の方が多い傾向にあるといえます。（45ページ参照）

## A 6 ③ 46位

2013年の神奈川県における持ち家住宅の延べ面積は1住宅当たり98.6㎡で全国第46位でした。最も広い県は富山で、177.0㎡、最も狭いのは東京で90.7㎡でした。（47ページ参照）

## A 7 ③ 5.78店

2014年の神奈川の人口1000人当たりの小売店数は5.78店で、全国第47位です。神奈川の小売店数は5万2544店で全国第4位ですが、大都市圏は人口が多いため、人口1000人当たりの数は少なくなっています。最も多い県は高知で11.19店、全国平均は8.07店です。（49ページ参照）

## A 8 ③ 1万5881台

2015年の神奈川の12時間当たりの平均交通量は1万5881台で大阪、東京に次いで全国第3位です。最も少ない県は島根で2889台です。（51ページ参照）

## A 9 ② 床暖房、タブレット端末

2014年の神奈川の1000世帯当たり所有数は床暖房が1829畳で東京、秋田に次いで全国第3位です。タブレット端末は345台で東京に次いで全国第2位です。この他に、空気清浄機が626台で東京、奈良に次いで全国第3位となっています。（53, 55ページ参照）



## クイズの答え 教育編



### A 1 ② 4616人

2016年度の神奈川の小学校外国人児童数は4616人で、全国第3位です。最も多い県は東京で7583人、最も少ない県は岩手で24人です。(61ページ参照)

### A 2 ③ 4位

2016年度の神奈川の中学校数は475校で、全国第4位です。最も多い県は東京で808校、最も少ない県は鳥取で63校です。(63ページ参照)

### A 3 ③ 93.8校

2015年度の神奈川の15～17歳人口10万人当たりの高等学校数は93.8校で、全国第47位です。最も多い県は島根で229.5校です。(65ページ参照)

### A 4 ① 110校

2016年度の神奈川の専修学校数は110校で、全国第6位です。最も多い県は東京で402校、最も少ない県は徳島で18校です。(67ページ参照)

### A 5 ② 19万3878人

2016年度の神奈川の大学学生数は、19万3878人で、全国第3位です。大学学生数のうち、大学学部の学生数は17万9410人、大学院の学生数は1万2785人です。(69ページ参照)

## クイズの答え 安全・医療編



### A 1 ② 2400件

2014年の神奈川の出火件数は2377件で、全国第4位です。

出火原因は、放火(疑いを含む)が651件で最も多く、たばこ、こんろ、ストーブと続きます。(73ページ参照)

### A 2 ① 19万1000回

2014年の神奈川の消防機関出動回数は19万616回で、全国第5位です。

最も多い県は東京で52万3487回、最も少ない県は鳥取で1万681回です。(75ページ参照)

### A 3 ③ 3万4000人

2015年の神奈川の交通事故死傷者数は3万3951人で全国第8位です。そのうち負傷者は3万3773人です。

(77ページ参照)

### A 4 ② 3600人

2014年の神奈川の少年刑法犯検挙人員は3605人で全国第3位です。

最も多い県は東京で4589人、最も少ない県は秋田で156人です。

(79ページ参照)

### A 5 ③ 650人

2014年の神奈川の人口10万人当たりの看護師・准看護師数は652.1人で全国第46位です。

全国平均は929.4人です。最も多い県は高知で1522.8人、東京は726.2人で44位です。(81ページ参照)



